

令和5年度 第1回 双葉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月28日（金）15時から16時30分
- 2 開催場所 双葉小学校 会議室
- 3 出席委員 河邊 忠一、平岡 廣二、加藤 泰弘、伊東 敏郎、
水野 久美子、大羽 恵子、蓑 悦子、木村 理
- 4 欠席委員 伊藤 篤志、富田 秀仁
- 5 学 校 藤井 隆志（校長）、滝川 宏美（教頭）、浅井 功平（教務主任）、加美 美紀（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀

8 会長の選出及び副会長の指名

司会の教頭から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、河邊委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された河邊委員から、平岡委員を副会長に指名する旨の報告があった。

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 双葉小学校学校運営基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 双葉小学校学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。今年度の学校教育目標は「夢に向かってともに伸びゆく子」であり、子供たちがひと・もの・ことと関わる中で成長し、変化する自分を感じることができるようサポートしていく。また、今年度は「やりたいことを見つけて、挑戦する子」を育むことを目指していきたいとの説明があった。委員からは、以下の発言があった。

・やりたいことを見つけていくためには、子供たちの意欲を育むことが基礎になると思う。そのための工夫や継続していることなどを教えてほしい。（河邊委員）

→タブレットを効率的に活用し、子供がわくわくするような教育活動を積極的に行っている。(教務主任)

- ・キッズチャレンジビジネスに他の学年もかかわってみてはどうだろうか。キッズチャレンジを成功させるために、早い段階での準備が大切だと考えている。(大羽委員)

→今年は6年生に販売計画をたたせる予定。技術的な技能を積み重ねつつ、5年生に意識をもたせるよう、6年生からも伝えていく予定。(校長)

- ・年間行事を含めて学校全体の流れをつかみ、キッズチャレンジのお手伝い(ボランティアの方への声掛け)や校内見学など年間の見通しを分かりやすくするために、先生方と情報を共有していきたい。(木村委員)
- ・「やりたいことを見つけて挑戦する子」を育むことを目指すことは理解できた。教科学習の進め方についてお聞きしたい。キッズチャレンジについては、具体的な日程の計画を進めることが必要だと思う。これからも、頻りに学校に通うようにしたい。(加藤委員)

→運動会などは、仲間づくり、学級づくりをテーマに子供達の思いが詰まった縦割りの種目を考える。わくわくを持続させる授業づくりに取り組むことなどを考えている。(校長)

- ・昨年度の課題をふまえながら、今後のことも一緒に考えていく必要がある。(平岡委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等の基本的な方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき説明があった。いじめに対して全職員で対処していくこと、学校で情報をきちんと整理し、子供たちが心配をかかえて帰宅することがないようにしていきたいとの説明があった。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があった。コロナ禍で人とのかわりに制限があったが、子供たちが自ら計画性をもってキッズチャレンジに取り組めるよう、コーディネーターさんの力を借りながら、充実させていきたいとの説明があった。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年6月22日(木)午後2時30分から会議室で開催する旨の報告があった。また、開催通知・学校に関する情報学校だよりなどは、さくら連絡網を使って知らせるとの連絡があった。